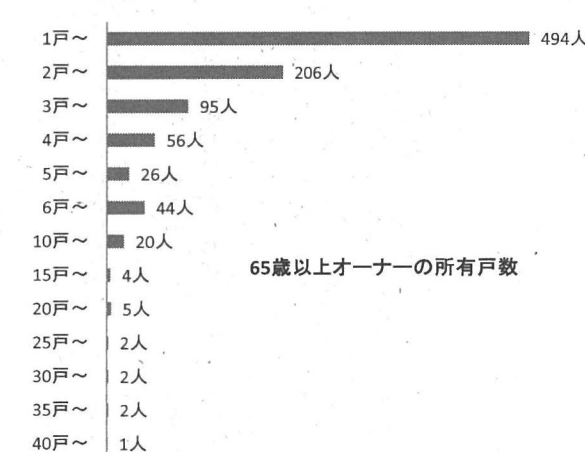


リタイア世代の不動産投資

所有数は平均2.6戸

中古ワンルーム、日本財託調べ



東京23区の投資用ワンルームマンションの販売と管理を手掛ける日本財託はこのほど、65歳以上の不動産オーナーを対象にアンケート調査を実施した。それによると、月

額平均家賃収入は20万434円だった。中央値は11万2000円。最も多い収入帯は「5万円以上10万円未満」の427人で、全体の半分近くを占めた。

また、所有している戸数（ダブル）の平均は2.61戸。中央値は1戸だった。また、目標所有数までの戸数を聞いたところ（アンケート対象71人）、「目標戸数に到達している」が最も多く54.93%を占めた。次いで「2戸」が15.49%、「1戸」

が9.86%、「3戸」が8.45%だった。同社では、「中古ワンルームマンション1戸で5万～8万円の月額家賃収入を得ることができ、給料という安定した収入源のある現役時代

と、収入が年金だけになった定年後では感じる価値がまったく異なる。年金不安が高まる中、ますます不動産投資に関心を寄せるシニア世代が増える」と予測される」としている。

2016年9月27日

住宅新報

5ページ